

2019年度(平成31年度)学校評価自己評価表

| | | |
|-------|------------------|-----------|
| 東中学校区 | 校番 6 | 福山市立手城小学校 |
| 最終更新日 | 2020年(令和2年)2月19日 | |

I 福山市

| | |
|-------|--|
| ミッション | 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。 |
| ビジョン | 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。 |

II 中学校区

| | | | |
|---|---|---------------------------|--|
| 前年度学校関係者評価の主な内容 | 児童生徒の現状 | 育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) | 課題発見・解決力、コミュニケーション能力、やりぬく力、思いやり |
| <ul style="list-style-type: none"> 学校課題を的確にとらえ、教職員のみならず、児童・生徒にも課題、目標を自覚させ、効果的に取り組んでいる。 学校としての取組状況がよく分かり、達成状況も分かりやすい。 評価結果に基づく改善策も具体的に効果をあげている。 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な学力は向上が見られる。 自ら課題を発見し、解決しようとする意欲や力量が育ちつつあるが、十分ではない。 自分の考えや思いを相手に伝えるコミュニケーション能力に課題がある。 相手を思いやる心や自らを律する力に課題がある。 | めざす子ども像 (義務教育修了時の姿) | 21世紀型“スキル&倫理観”を身に付け、自ら考え主体的に学ぶ子 |
| | | 中学校区として統一した取組等 | <ul style="list-style-type: none"> 東中学校区体育大会リハーサル交流会(校区小学校6年生による参観) E S Dの推進(状況の交流) 校区小中学校合同授業公開(毎年各学校持ち回り) |

III 自校

| | |
|--------|---|
| ミッション | 学校・地域・家庭が一体となって「ふるさと福山」に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる手城の子どもを育てる。 |
| 学校教育目標 | 自ら学び やさしく たくましく |
| 現状 | <p><児童生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> 標準学力調査において、全国平均を上回ることができたのは62%であった。基礎学力は定着しつつあるが、思考力・表現力に課題がある。 自ら課題を見付け追及したり、コミュニケーションをとりながら学び合い、表現活動をしたりすることに課題がある。 校内では、規律ある行動ができ、落ち着いた学校生活を送ることはできている。一方で、校外での生活は、校内の生活が活かされていない。また、自分に自信をもてない児童もあり、自己有用感を高めていく必要がある。 新体力テストにおいて、県平均以上の項目は69%であった。ボール投げや50m走に課題がある。長期欠席者は減少しているが、欠席する児童は固定化している。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> 「学習のプロセス ワン・ツー・スリー」は定着しつつある。 主体的な学びを実現するために、教師の授業力を高めていく必要がある。 体験的活動や協同的学習の場や工夫が不十分である。 |

| | | | | |
|---------------------------|---|---|---|--|
| 育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) | 課題発見・解決力 課 | コミュニケーション能力 回 | やりぬく力 回 | 思いやり 回 |
| めざす子ども像 | <p>低学年</p> <p>学習や生活の中から進んでふしぎを見つけ出す子</p> <p>中学年</p> <p>進んで学習のめあてを考え、課題を解決する子</p> <p>高学年</p> <p>自分なりの発想を生かして課題を設定し、見通しをもって解決する子</p> | <p>自分の思いや考えを、進んで相手に伝える子</p> <p>ペアやグループで、互いの思いや考えを伝え合う子</p> <p>伝え合いを通して、自分や友だちの考えをよりよいものにする子</p> | <p>自分のやるべき勉強や仕事を継続して行う子</p> <p>自分で決めた目標に向け、強い意志をもち、粘り強くやり抜く子</p> <p>より高い目標を立て、困難があってもくじけず、努力を続けてやり抜く子</p> | <p>友達の気持ちが分かる子</p> <p>相手のことを思いやり、進んで親切にする子</p> <p>だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする子</p> |
| 研究 | 教科等 主題・内容等 | 道徳 図画工作 | | |
| めざす授業の姿 | <p>自ら考え学び、自分の思いをいきいきと表現できる児童の育成 ～一人一人のよさや感性に学び合う授業づくりを通して～</p> <p>自らの学びを自覚することができる授業 ～「分かった」「できた」の実感から「もっとやりたい」へ～</p> <p><学びのプロセス ワン・ツー・スリー>と<単元学習>の全学級展開</p> <p>①児童とともに学習のめあてを設定する。 ②話し合いたくなる場とつぶやき合う場をつくる。 ③個々の学習の達成状況を自覚させる振り返りをさせる。</p> <p>道徳：深く考え、議論する中で、新たな発見をする道徳授業</p> <p>図画工作：対話の場面を効果的に取り入れ、充実感のある図画工作科授業</p> | | | |

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立手城小学校

| 年目 | 中期経営目標 | 重点 | 分類 | 短期経営目標 | 目標達成に向けた取組 | 評価指標 | 中間評価(10月1日) | | | 最終評価(2月末) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|------|---|--|---|--|--------|------|---|--|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|----|-----|-----|----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|-----|---|---|---|---|
| | | | | | | | □指標に係る取組状況 | 7/10評価 | 達成評価 | 改善方策 | 7/10評価 | 達成評価 | 総合評価 | 改善方策 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 確かな学力 基礎・基本の定着と「主体的・対話的な深い学び」の実現 | ★ | 継続 | 自ら学ぶ力を身に付ける。 (全学年、記述式学力調査全国平均以上) 課 目 や | ○自己課題に取り組む家庭学習を実施する。 | ○毎月1回以上、学級通信等で紹介する。 | 【家庭学習の紹介】 □どの学級も、学級・学年通信をはじめ、学級掲示、学級活動を活用して、チャレンジノートの紹介を行っている。少しずつ内容の広がりが見られるようになったが、もっと質を上げる必要がある。 | 4 | 4 | ◎継続して、毎月1回以上、学級通信等で紹介していく。また、取り組みがどの程度家庭学習の質の向上に繋がっているか、アンケートをもとに検証を行う。 | 【家庭学習の紹介】 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>平均</th></tr> <tr><td>回数</td><td>9</td><td>10</td><td>21</td><td>9</td><td>12</td><td>10</td><td>71</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>100</td><td>110</td><td>230</td><td>100</td><td>130</td><td>110</td><td>130</td></tr> </table> □どの学級も学級・学年通信をはじめ、学級掲示、学活等を活用してチャレンジノートの紹介を行った。 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 平均 | 回数 | 9 | 10 | 21 | 9 | 12 | 10 | 71 | 達成率 | 100 | 110 | 230 | 100 | 130 | 110 | 130 | 4 | 4 | 3 | ◎継続して通信等で紹介していく活動を行うが、自己課題を明確にして取り組めるようにする。 |
| | | | | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 平均 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 回数 | 9 | 10 | 21 | 9 | 12 | 10 | 71 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 100 | 110 | 230 | 100 | 130 | 110 | 130 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○生活科・総合的な学習・道徳を核とした教科横断的な単元学習を学期に1回以上行う。 | ○単元末アンケート…この学習は楽しいおもしろいと感じ、進んで参加できたという児童90%以上 | 【学習への興味・関心が高い児童】 □つきたい力を明確にした教科横断的な単元計画を作成することで、主体的に活動することができている。 | 3 | 4 | ◎継続して、つきたい力を明確にした教科横断的な単元計画を作成し、児童の主体的な活動を中心とした授業を行っている。 | 【学習への興味・関心が高い児童】 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>全校</th></tr> <tr><td>達成度</td><td>97.5</td><td>79.3</td><td>98.7</td><td>85.3</td><td>88.3</td><td>94.7</td><td>91</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>108</td><td>88</td><td>109</td><td>95</td><td>98</td><td>105</td><td>101</td></tr> </table> □教科横断的な単元を行うことで、児童の興味・関心が繋がり、学習への意欲を高めることができた。 短期経営目標達成状況 ◎標準学力調査において、全国平均を上回ることができたのは12項目中8項目であった。基礎学力は定着しつつあるが、算数の活用に課題がある。 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | 達成度 | 97.5 | 79.3 | 98.7 | 85.3 | 88.3 | 94.7 | 91 | 達成率 | 108 | 88 | 109 | 95 | 98 | 105 | 101 | 3 | 3 | ◎教科横断的な単元計画を作成するために、カリキュラムマップで単元を入れ替えたり、単元をつないだりして、学習に繋がりをもたせていく。 | | | | | | |
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | 97.5 | 79.3 | 98.7 | 85.3 | 88.3 | 94.7 | 91 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 108 | 88 | 109 | 95 | 98 | 105 | 101 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ★ | 継続 | 学習者の視点に立った授業改善を行う。 (授業で話し合うことや考えることが楽しいと回答する児童90%以上) 課 目 | ○「ひく・まつ・まかせ」授業づくりを実施し、月1回以上の検証を行う。(ビデオリフレクション・授業公開) | ○「ひく・まつ・まかせ」授業を全授業の80%以上 | 【「ひく・まつ・まかせ」授業】 □児童が主体的に学習に参加できるように、学年で話し合いながら教材研究(話し合いとなる発問・意図的なグループ活動)を行っている。 | 3 | 4 | ◎「ひく・まつ・まかせ」授業を実施するためには、教材研究をしっかりと行い、教員全体でつきたい力を見通して課題を設定したり、発問を工夫したりする必要が ある。 | 【「ひく・まつ・まかせ」授業】 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>全校</th></tr> <tr><td>達成度</td><td>72</td><td>68</td><td>85</td><td>62</td><td>74</td><td>80</td><td>73.5</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>120</td><td>113</td><td>141</td><td>103</td><td>123</td><td>133</td><td>122</td></tr> </table> □児童が主体的に学習に参加できるように、学年で話し合いながら教材研究(話し合いとなる発問・意図的なグループ活動)を行った。 短期経営目標達成状況 ◎授業で話し合うことや考えることが楽しいと回答する児童は88.5%であった。「ひく・まつ・まかせ」授業をよく実施しているクラスの方が実施していないクラスよりも、授業で話し合うことや考えることが楽しいと回答する児童の割合が高かった。 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | 達成度 | 72 | 68 | 85 | 62 | 74 | 80 | 73.5 | 達成率 | 120 | 113 | 141 | 103 | 123 | 133 | 122 | 4 | 4 | 4 | ◎単元や本時の課題提示の工夫することで、児童がより主体的に学習に参加できるようにしていく。 |
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | 72 | 68 | 85 | 62 | 74 | 80 | 73.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 120 | 113 | 141 | 103 | 123 | 133 | 122 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|-----|--|--|--|---|----|----|---|---|----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|---|----|----|--|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|---|---|---|---|
| 3 | 豊かな心 規範意識 や自己有 用感の育 成 | ★ | 継続 | 自ら学校生活 をよりよくし ようとする 力を身に付 ける。 (長期欠席 者昨年比 0. 9) ☐ ㊦ | ○毎月、児 童会重点 目標を決 め、その きまりを 守る意義 を話し合 い、具体 的な行動 を考える 活動を実 施する。 | ○「あいさ つ」、「チ ャイム 席」、「だ まってそ うじ」が できる 児童を 90% 以上 | 【3つの重点項目 が守れた児童】 【あいさつ】 ☐4月と9月の児童 会目標として、放 送、掲示に取り組 んだ。あいさつポ ランティアのあじ さい隊を結成し、 毎朝あいさつ運動 を実施した。 【チャイム席】 ☐毎日3回、大きな 休憩の終わりに放 送委員がチャイム 席を呼びかけた。2 学期の重点目標に 設定し、時間を守 る意義について全 体指導した。 【だまってそうじ】 ☐6月と9月に、 たてわりそうじ に取り組んだ。 掃除の意義や仕 方について全体 指導し、掃除終 了後に、縦割り班 ごとに振り返り を行った。 | 3 | 3 | ◎自分から先 にあいさつで きている児童 にあいさつパ ッジや金メダ ルカードを渡 し、意欲を高 め、あいさつ リーダーを育 成する。 ◎各学級や登校 班で、学校の きまりにつ いて話し合う 授業を行う。 きまりの意義 について理解 させ、規範意 識を高める。 ◎気づきそう じに取り組み 、時間いっぱい 掃除ができる ようにする。 たてわりそう じに取り組み 、上級生が 下級生に手本 を見せる。 | 【3つの重点項目が守れた児童】 【あいさつ】 <table border="1"> <tr><td></td><td>1年</td><td>2年</td><td>3年</td><td>4年</td><td>5年</td><td>6年</td><td>全校</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>94</td><td>99</td><td>87</td><td>76</td><td>87</td><td>85</td><td>88</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>104</td><td>110</td><td>96</td><td>84</td><td>96</td><td>94</td><td>97</td></tr> </table> ☐1学期は6年生、2学期は2・3年生、3学期は5年生が、あいさつステーションでのあいさつ運動に取り組んだ。1月の児童会目標として、児童会執行部が、シール配り・バッジ認定に取り組んだ。 【チャイム席】 <table border="1"> <tr><td></td><td>1年</td><td>2年</td><td>3年</td><td>4年</td><td>5年</td><td>6年</td><td>全校</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>99</td><td>95</td><td>92</td><td>94</td><td>95</td><td>97</td><td>95</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>110</td><td>105</td><td>102</td><td>104</td><td>105</td><td>107</td><td>105</td></tr> </table> ☐毎日3回、休憩の終わりに放送委員や教職員が呼びかけを行った。かがやけ手城っ子カードを活用し、生活を振り返った。きまりの意義を理解し、きまりを守ろうとする意識を高めるため、班の目標を自分たちで決める取組を行った。 【だまってそうじ】 <table border="1"> <tr><td></td><td>1年</td><td>2年</td><td>3年</td><td>4年</td><td>5年</td><td>6年</td><td>全校</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>94</td><td>97</td><td>92</td><td>93</td><td>93</td><td>82</td><td>91</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>104</td><td>107</td><td>102</td><td>103</td><td>103</td><td>91</td><td>102</td></tr> </table> ☐2月の児童会目標として、だまってすみすみそうじに取り組み、そうじ名人を放送したり、掲示したりした。たてわりそうじに取り組み、各学級での掃除を交流させることにより、多様な方法で掃除できる技能を高めた。 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | 達成率 | 94 | 99 | 87 | 76 | 87 | 85 | 88 | 達成度 | 104 | 110 | 96 | 84 | 96 | 94 | 97 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | 達成率 | 99 | 95 | 92 | 94 | 95 | 97 | 95 | 達成度 | 110 | 105 | 102 | 104 | 105 | 107 | 105 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | 達成率 | 94 | 97 | 92 | 93 | 93 | 82 | 91 | 達成度 | 104 | 107 | 102 | 103 | 103 | 91 | 102 | 3 | 3 | 5 | ◎あいさつ 習慣を育 成するた め、PTA 教養保健 部や地域 ボランティア と連携した あいさつ運 動に取り 組む。 ◎規範意識 を高める ために、児 童主体で 話し合い、 自分たちの きまりを作 る学級活動 を進める。 ◎親切そう じに取り組 み、掃除 時間だけ でなく、日 常的にご みを拾っ たり、地域 を掃除し たりして いく。 |
| | | | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 94 | 99 | 87 | 76 | 87 | 85 | 88 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | 104 | 110 | 96 | 84 | 96 | 94 | 97 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 99 | 95 | 92 | 94 | 95 | 97 | 95 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | 110 | 105 | 102 | 104 | 105 | 107 | 105 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 94 | 97 | 92 | 93 | 93 | 82 | 91 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | 104 | 107 | 102 | 103 | 103 | 91 | 102 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○月1回以 上の縦割 り班活動 を実施し 、異学年 交流を充 実させる。 | ○「自分 には、良 い所があ る」と回 答する 児童を 90% 以上 | 【自分のよさに 気づく児童】 ☐5月児童会目標 として良い所見 つけをし、カラ フル手城っ子 として掲示、参 観日で保護者 にも見てもら った。各学級 でも、学活 や道徳の時 間に良い所 見つけをし た。 | 3 | 3 | ◎図工や国語 など、各教 科においても 、相互鑑賞 の場面にお いて、良い 所見つけを させ、メッ セージを書 いて贈り合 う。 | 【自分のよさに 気づく児童】 <table border="1"> <tr><td></td><td>1年</td><td>2年</td><td>3年</td><td>4年</td><td>5年</td><td>6年</td><td>全校</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>100</td><td>99</td><td>94</td><td>95</td><td>90</td><td>85</td><td>93</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>111</td><td>110</td><td>104</td><td>105</td><td>100</td><td>94</td><td>104</td></tr> </table> ☐12月の児童会目標として、良い所見つけをし、校内放送した。学級活動や道徳科の時間に良い所見つけをし、ワークシートに書いて持ち帰ったり、掲示したりした。 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | 達成率 | 100 | 99 | 94 | 95 | 90 | 85 | 93 | 達成度 | 111 | 110 | 104 | 105 | 100 | 94 | 104 | 4 | 4 | ◎自分の良 さを意識 させるた め、自分の 成長の記 録や表彰 された賞 状などを ファイル に綴じて いく。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 100 | 99 | 94 | 95 | 90 | 85 | 93 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | 111 | 110 | 104 | 105 | 100 | 94 | 104 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|------------------------------|--|-----------------------------------|---------------------|---|---|----|---|---|----|----|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|---|--|
| | | | | ○月1回以上のロング休憩を実施し、学級集団づくりに取り組む。 | ○学校が楽しいと回答する児童90%以上 | 【学校が楽しい児童】 □月1回、ロング休憩に取り組んだ。図書室を開放し、自由に本を読めるようにした。各学級でも、学級レベルに取り組み、担任が積極的にいっしょに遊んだ。 | 3 | 3 | ◎たてわり遊びに取り組み、児童の交友関係を広げたり、遊びの内容を豊かにしたりする。 | 【学校が楽しい児童】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td>4年</td> <td>5年</td> <td>6年</td> <td>全校</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100</td> <td>94</td> <td>91</td> <td>95</td> <td>87</td> <td>83</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>111</td> <td>104</td> <td>101</td> <td>96</td> <td>92</td> <td>101</td> <td>101</td> </tr> </table> □10月の児童会目標として、たてわり遊びに取り組み、たてわりロング休憩として継続した。学習発表会など異年齢交流があった後に、たてわり班ごとにペア学年へ手紙を贈り合った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 短期経営目標達成状況 ◎規律3要素(あいさつ、そうじ、時間)の肯定的評価は92%で、達成率は102%であった。 ◎長期欠席者昨年比は、0.55で、達成率は163%であった。 </div> | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | 達成率 | 100 | 94 | 91 | 95 | 87 | 83 | 91 | 達成度 | 111 | 104 | 101 | 96 | 92 | 101 | 101 | 4 | 4 | ◎特別支援教育やコミュニケーションに関する研修を深め、支持的学級風土を醸成する。 |
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 100 | 94 | 91 | 95 | 87 | 83 | 91 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | 111 | 104 | 101 | 96 | 92 | 101 | 101 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 健やかな体 主体的な健康・体力づくりの推進 | 継続 | 自分の健康に関心を持ち、進んで体力づくりに取り組む力をつける。 (新体力テスト項目県平均または全国平均以上75%以上) | ○学期1回以上の強化期間を設定し、自己ベストをめざした取組を行う。 | ○自己目標クリア80%以上 | 【自己目標をクリアした児童】 □新体力テストに向けて目標を立てて実施したが、全体的に記録は伸びなかった。前年度課題のボール投げでは若干記録が上がった。2学期はマラソン大会、3学期はなわとびで実施する。 | 2 | 2 | ◎計画的に実施するために、複数人で取組みの進捗状況の確認をする。 | 【自己目標をクリアした児童】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td>4年</td> <td>5年</td> <td>6年</td> <td>全校</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100</td> <td>94</td> <td>98</td> <td>87</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>125</td> <td>118</td> <td>123</td> <td>109</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>118</td> </tr> </table> □2学期実施のマラソン大会では、ほとんどの児童が自分の目標を達成できた。目標を達成できなかった児童も、目標に迫る記録でよく頑張っていた。 3学期のなわとびでは、前年度の記録をどれだけ更新できるかに挑戦中。職員室前に、頑張りカードの上位段の児童を掲示するなどして、意欲を高めるようにしている。 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | 達成率 | 100 | 94 | 98 | 87 | 91 | 91 | 94 | 達成度 | 125 | 118 | 123 | 109 | 114 | 114 | 118 | 4 | 4 | ◎自己目標を立てて取り組んだことが、新体力テストの記録にもつながるように、保護者へ啓発を行いながら、連携して体力向上への取組を行う。 |
| | | | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 100 | 94 | 98 | 87 | 91 | 91 | 94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | 125 | 118 | 123 | 109 | 114 | 114 | 118 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課 業 | ○規則正しい生活習慣を身に付けられるように就寝時刻と起床時刻を自己決定させる。 | ○自分で決めた時刻に就寝・起床できている児童を80%以上 | 【就寝・起床時刻を守れた児童】 □低・中学年で目標を達成できた児童が多い。高学年が目標を下回っている。その要因として、自己の健康への意識が高くないことや、就寝時刻の設定が適切でな | 3 | 3 | ◎取組み期間内に定期的な声かけをする。また、就寝時刻の設定について見直し・修正をする。また、通信や懇談会等で保護者への啓発を行う。 | 【就寝・起床時刻を守れた児童】 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td>4年</td> <td>5年</td> <td>6年</td> <td>全校</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>76</td> <td>84</td> <td>90</td> <td>75</td> <td>84</td> <td>82</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>95</td> <td>105</td> <td>113</td> <td>94</td> <td>105</td> <td>103</td> <td>103</td> </tr> </table> □ほけん便りを通じて2学期の取組みの結果を保護者に知らせ啓発を行ったり、各クラスで継続的に声かけ行ったりしたことで、全体的には規則正しい生活習慣を身に付けることができた児童が多い。 | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | 達成率 | 76 | 84 | 90 | 75 | 84 | 82 | 82 | 達成度 | 95 | 105 | 113 | 94 | 105 | 103 | 103 | 4 | 4 | ◎ほけん便りによる全校の結果だけでなく、各学年ごとにも保護者への啓発を行うことで、さらに規則正しい生活リズムを身に付ける児童を増やす。 | | | |
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 全校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 76 | 84 | 90 | 75 | 84 | 82 | 82 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | 95 | 105 | 113 | 94 | 105 | 103 | 103 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-----------|--|---|------------------------------|---|---|---|---|--|--|----|-----|-----|-----|----|----|-----|--|----|----|----|----|----|-----|--|----|----|----|-----|----|---|---|---|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | <p>かったこと、週末に生活リズムがくずれることがあると考えられる。</p> | | | | | | | <p>短期経営目標達成状況 ◎新体カテスト項目県平均または全国平均以上53%で、達成率71%だった。 目標達成に向けた取組み指標は上回ったが、体力の向上には課題が残った。</p> | | | | | | | | | |
| 3 | <p>市民から信頼される学校</p> <p>保護者・地域が安心してまかせられる学校づくりの推進</p> | <p>継続</p> | <p>業務改善を進め、元気で子どもと向き合う職場環境をつくる</p> <p>(教職員の「やりがい」肯定的評価90%以上)</p> | <p>〇月 45 時間、年 360 時間を越えないよう、時間管理を確実に行う。</p> | <p>〇月 45 時間を超えない職員 90%以上</p> | <p>【月 45 時間以内の職員】</p> <p>□見通しを持って計画的に効率よく仕事ができているか、定期的に学年会を開いている。また、目標時間を設定し、決められた時間で集中して仕事ができる環境をつくってきた。</p> | 3 | 3 | <p>◎教材研究の時間や児童に寄り添える時間をより確保するために、業務を見直し、改善・精選を行う。</p> | <p>【月 45 時間以内の職員】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>9月</td> <td>10月</td> <td>11月</td> <td>12月</td> <td>1月</td> <td>前期</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>88</td> <td>72</td> <td>88</td> <td>82</td> <td>94</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>98</td> <td>80</td> <td>98</td> <td>91</td> <td>104</td> <td>94</td> </tr> </table> <p>□学年会で見通しを持って計画的に仕事ができるように確認して仕事を進めた。</p> <p>□退校時刻が近付くと学年等で声をかけ合って帰る環境ができてきた。</p> | | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 前期 | 達成率 | 88 | 72 | 88 | 82 | 94 | 85 | 達成度 | 98 | 80 | 98 | 91 | 104 | 94 | 3 | 3 | 5 | <p>◎一人一人が毎日退校時刻を決めて、それまでの時間にその日の仕事内容が終わるように意識して仕事をする。(ボードを作成する。)</p> |
| | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 前期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成率 | 88 | 72 | 88 | 82 | 94 | 85 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 達成度 | 98 | 80 | 98 | 91 | 104 | 94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | <p>短期経営目標達成状況 ◎教職員の「仕事にやりがい(意欲)を感じている」の肯定的評価は 100%で、達成度は 111%であった。</p> | | | | | | | | | |

| [プロセス評価の評価基準] | | [達成評価の評価基準] | | [総合評価の評価基準] | | |
|---------------|--|-------------|------------------------|-------------|-----------------|-----------------|
| 評点 | 評価基準 | 評点 | 評価基準 | 評点 | 評価基準 | |
| 5 | 取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。 | 5 | 目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。 | 5 | 100%以上の達成度 | 十分に目標を達成できた。 |
| 4 | 取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。 | 4 | 目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。 | 4 | 80%以上100%未満の達成度 | 概ね目標を達成できた。 |
| 3 | 取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。 | 3 | 目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。 | 3 | 60%以上80%未満の達成度 | ある程度目標を達成できた。 |
| 2 | 取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。 | 2 | 目標を下回り、成果よりも課題が多かった。 | 2 | 40%以上60%未満の達成度 | あまり目標を達成できなかった。 |
| 1 | 取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。 | 1 | 目標を大きく下回り、成果が認められなかった。 | 1 | 40%未満の達成度 | 目標を達成できなかった。 |

別紙様式3

2020年(令和元年)2月19日

福山市立~~子城~~中学校長 様

東中学校区
学校関係者評価委員会

2019年度(令和元年度)学校関係者評価報告書

評価結果

| | 評価項目 | 評価 |
|---|--|----|
| 1 | 中学校区や学校のめざす子ども像がよく分かった。 | ㊟ |
| 2 | 中学校区や学校の児童生徒の現状や課題がよく分かった。 | ㊟ |
| 3 | 学校が本年度何を重点目標として取り組むのがよく分かった。 | ㊟ |
| 4 | 短期経営目標や評価項目・指標等の達成状況がよく分かった。 | ㊟ |
| 5 | 短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策がよく分かった。 | ㊟ |
| 6 | 短期経営目標の自己評価結果に基づく改善方策を実行している。 | ㊟ |
| 7 | 中学校区や学校は、教育活動に関する情報を、保護者・地域住民等に積極的に発信している。 | ㊟ |
| 8 | 積極的な情報発信により、中学校区の学校・保護者・地域が互いに連携協力を深めている。 | ㊟ |
| <p>【意見等】</p> <p>目標の数値化を工夫し、教育活動全般において、組織的 取り組みを行い、成果を上げている。</p> | | |

※ 評価基準

| 評価 | 基準 | 説明 |
|----|-------------------|------------------------------------|
| ㊟ | 十分満足できると判断されるもの | 「評価項目」に示されている状況を高い水準で達成していると考えられる。 |
| ○ | おおむね満足できると判断されるもの | 「評価項目」に示されている状況をおおむね達成していると考えられる。 |
| △ | 努力を要すると判断されるもの | 「評価項目」に示されている状況を達成していないと考えられる。 |